

2025 年 11 月 4 日

梶山女学園大学

日本の“見えない現実”に光を—— 外国語学部で社会派映画上映&監督セッション開催

世界 41 の映画祭で公式選出、17 部門で受賞——日本社会の“見えない現実”に迫る話題作が、梶山女学園大学（愛知県名古屋市、学長：黒田由彦）で上映されます。外国語学部主催のこの上映会では、オーストラリア人監督ライオン・マカヴォイ氏を招き、学生との対話セッションも実施。国際的な視点から日本の課題を見つめ直す貴重な機会とします。

梶山女学園大学外国語学部では、2025 年 11 月 27 日（木）、ドキュメンタリー映画『取り残された人々：日本におけるシングルマザーの苦境（The Ones Left Behind: The Plight of Single Mothers in Japan）』の上映会を開催いたします。外国語学部 1 年生を中心に、国際コミュニケーション学部の学生も多数参加予定です。

この作品は、オーストラリア出身の映画監督ライオン・マカヴォイ氏が、日本の社会問題を外国人の視点から描いたドキュメンタリーで、文部科学省選定作品でもあります。日本の子どもの 13.5%が貧困状態にあるという現実を、シングルマザーの声を通して浮き彫りにし、社会的な議論を巻き起こしてきました。

上映後には、マカヴォイ監督との質疑応答セッションを予定しており、学生たちは映画を通じて日本社会の課題に対する理解を深め、批判的思考を育む機会を得ます。

外国語学部では「地球市民」の育成を教育目標に掲げ、語学のみならず文化、哲学、社会問題など多角的な学びを展開しています。本上映会は、学生が現実の社会課題に向き合い、グローバルな視点で考える力を養う教育の一環として位置づけられています。

マカヴォイ監督は「日本の社会には、外部からは見えにくい沈黙がある」と語り、映画を通じてその“違和感”を可視化することに挑戦しています。日本社会の“見えない現実”に迫る本作品と、監督のメッセージは、教育・福祉・ジェンダー・国際理解など多方面にわたる教育価値を有しております。本学では、こうした作品を通じて、学生が社会に対して主体的に関わる契機を提供し、より良い未来の創造に貢献することを目指しています。

NEWS RELEASE

【開催概要】

日時：2025 年 11 月 27 日（木）

17:00～19:00 頃

会場：梶山女学園大学 メディア棟 001 教室

主催：梶山女学園大学 外国語学部

対象：外国語学部 1 年生全員ほか、
外国語学部・国際コミュニケーション学部の学生多数

内容：

- ・映画上映『取り残された人々：日本におけるシングルマザーの苦境』
- ・監督ライオン・マカヴォイ氏による質疑応答セッション
- ・学生との対話・意見交換

Sugiyama



本件に関するお問合せ

梶山女学園広報課（担当：渡部・わたべ）

TEL：052-781-5940（広報課直通）

メールアドレス：kouhou@sugiyama-u.ac.jp



各国映画祭41カ所ノミネート作品
国際映画祭17部門 受賞作品

文部科学省選定作品

THE ONES LEFT BEHIND

THE PLIGHT OF SINGLE MOTHERS IN JAPAN

取り残された人々： 日本におけるシングルマザーの苦境

2025 年 11 月 27 日

梶山女学園大学

メディア棟 001 教室

17:00~19:00

Directed by Rionne McAvoy

ライオン・マカヴォイ監督

上映後、ライオン・

「無関心ではられない」

onesleftbehind.com

マカヴォイ監督との質疑
応答を予定しています。

Directed by Rionne McAvoy

THE ONES LEFT BEHIND

THE PLIGHT OF SINGLE MOTHERS IN JAPAN

取り残された人々： 日本におけるシングルマザーの苦境

ライオン・マカヴォイ監督

多くの映画祭で注目を集めたこの作品は、外国人監督が「日本の隠された真実」を描いた78分の長編ドキュメンタリー作品となる。

世界第4位の経済大国日本。先進国でありながら、日本の子どもの7人に1人が貧困状態にある。しかしながら、なぜその現実が見えてこないのか。日本の社会、文化、歴史を様々な角度から深く掘り下げ、日本の隠された現実を外国人が感じる素直な「違和感」として映画化した作品となる。

また、この作品に携わった日本人女性のプロデューサーも、2世代でシングルマザーを経験している。長年感じ続けてきた「漠然としたこの国での生きづらさ・女性への不平等さ」の原因を共にひも解くことで、女性たちの声を代弁し、他にはない作品となったと語る。

彼女は当事者の日本人には描けなかった「母として生きる辛さからの解放」と述べている。

今後私たちはどうあるべきなのか。。。あなたの心に訴えかける作品である。



制作会社：ジャパンメディアサービス株式会社

2025 年 11 月 27 日 梶山女学園大学にて開催

上映後、ライオン・マカヴォイ監督との質疑応答を予定

17:00～19:00 メディア棟 001 教室





各国映画祭41カ所ノミネート作品
国際映画祭17部門 受賞作品

文部科学省選定作品

THE ONES LEFT BEHIND

THE PLIGHT OF SINGLE MOTHERS IN JAPAN

取り残された人々： 日本におけるシングルマザーの苦境

27th Nov. 2025

Sugiyama Jogakuen University

Media Building, Room 001

17:00 to 19:00

Directed by Rionne McAvoy

ライオン・マカヴォイ監督

「無関心ではられない」

onesleftbehind.com

Screening to be
followed by Q&A
with director
Rionne McAvoy

Directed by Rionne McAvoy

THE ONES LEFT BEHIND

THE PLIGHT OF SINGLE MOTHERS IN JAPAN

取り残された人々： 日本におけるシングルマザーの苦境

ライオン・マカヴォイ監督

多くの映画祭で注目を集めたこの作品は、外国人監督が「日本の隠された真実」を描いた78分の長編ドキュメンタリー作品となる。

世界第4位の経済大国日本。先進国でありながら、日本の子どもの7人に1人が貧困状態にある。しかしながら、なぜその現実が見えてこないのか。日本の社会、文化、歴史を様々な角度から深く掘り下げ、日本の隠された現実を外国人が感じる素直な「違和感」として映画化した作品となる。

また、この作品に携わった日本人女性のプロデューサーも、2世代でシングルマザーを経験している。長年感じ続けてきた「漠然としたこの国での生きづらさ・女性への不平等さ」の原因を共にひも解くことで、女性たちの声を代弁し、他にはない作品となったと語る。

彼女は当事者の日本人には描けなかった「母として生きる辛さからの解放」と述べている。

今後私たちはどうあるべきなのか。。。あなたの心に訴えかける作品である。



制作会社：ジャパンメディアサービス株式会社

27th Nov. 2025 at Sugiyama Jogakuen University

Screening to be followed by Q&A with director
Rionne McAvoy

17:00 to 19:00 in the Media Building, Room 001

